

平成28年 12月定例会

平成28年12月定例会は、11月30日から12月22日までの23日間にわたり開かれました。市長提出議案として追加議案も含め条例案8件、補正予算5件、工事請負契約の変更1件、人事案件2件、および報告1件が上程され、全議案とも可決承認されました。また、議員提出議案として意見書案1件、決議案1件が提案可決されました。なお、幸手市都市公園等指定管理業務調査特別委員会が12回にわたる調査を終了し報告がなされました。

第二保育所 建設工事の契約変更 完成は平成29年4月末に



工事中の第二保育所

建設発生土に混入物

工事費1353万円余増額に

かねてより行われていました市立第二保育所の建設工事が、工事開始後、建設の際の発生土に想定外の混入物がありました。

このため予定された発生土搬出先に搬入することができず、搬出先が変更されました。

このことにより発生土搬出費が約1353万円増額となりました。また、工期も平成28年度の3月15日から、平成29年度となる4月28日に延長しなければならなくなりました。

従って、前払金を除く工事費の大半が平成29年度に繰越明許となりました。

なお、第二保育所の開所の予定には変更がありません。



行幸小学校

行幸小学校

約3億5千万円で

大規模改修へ

平成28年度幸手市一般会計補正予算（第4号）が、可決成立しました。

補正予算の最大の事業は、行幸小学校の大規模改修です。行幸小学校は、昭和52年に完成し、耐震改修はしたものの、築後40年を経過するもので、児童の安全安心な学習環境を整備するための大事な事業です。

今年も
よろしく
お願い



いたします

議長

手島 幸成

副議長

小林 順一

議員（議席順）

大山重隆 小林啓子 小河原浩和 本田謡子 松田雅代 宮杉勝男 木村治夫 中村孝子 藤沼村孝 青木沼村 武藤木沼 大平泰壽 二男章貢



手島市議会議長
幸手 手島 幸成

市民の皆様には、新春を健やかに迎えのことと心からお喜び申し上げます。

また、日ごろから市議会運営に對しまして、あたたかいご支援と格別のご理解を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は市制施行30周年を迎えました。今年はこの勢いをさらに増し飛躍の年となることを期待しています。

市議会といたしましても、市民の皆様のご期待にこたえるため、質の高い議論を行うとともに、より精度の高いチェック機能を発揮してまいる所存であります。

結びにあたり、市民の皆様のみますますのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

幸手市議会議員研修会開催 介護予防の公的責任と自治体

市議会は、平成29年1月13日、埼玉県和光市保健福祉部長 東内京一（とうないきょういち）氏を講師として招き、介護予防の公的責任と自治体と題する議員研修会を開催しました。

和光市は、地域性を重視した介護保険事業運営を中心に保健・医療・福祉政策を構築し地域包括支援体制を推進している自治体です。

同市の中央コミュニティケア会議の構成は、保険者（市）、市内五か所の地域包括センターから24人、外部からの助言者（医師、管理栄養士、歯科衛生士、理学療法士、薬剤師、作業療法士）から成っています。さらに、個別プランを作成するときは、消費者相談員等の市役所関係者やグループホームの関係者が加わることでした。

講演内容は、

- 1、超高齢化社会に対応した地域包括ケアシステムをどう構築するか。
- 2、そのためのニーズ調査や縦割り行政を改めた中央コミュニティケア会議の設置。
- 3、これを中心に各種ケアマネジメントの一元化（高齢者、子ども・子育て、障害児・者、生活困窮者の支援）を図る。
- 4、平成30年に計画されている国の医療と介護の一体改革に対応する等。

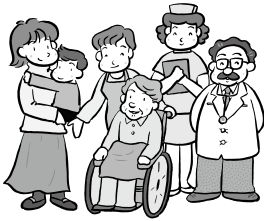


(意見書案第1号)
地方議会議員の厚生年金
への加入を求める意見書
を提出

地方自治法第99条の規定により
意見書が提出され、幸手市議会と
して「賛成全員」で可決し、衆議
院長、参議院議長、内閣総理大
臣ほか関係府省に送りました。

(決議案第2号)
地域包括ケアの推進を求
める決議を提出

幸手市議会会議規則第13条第1
項の規定により決議案が提出され、
幸手市議会として「賛成全員」で
可決しました。



地域包括ケアの推進を求める決議

幸手市の高齢化率も30%を超え、超高齢化社会となつてまいりました。

また、高齢者夫婦のみの世帯、高齢者独居の世帯ともに増えており、家族・地域で支えていく事が大変難しくなつてきております。

多くの市民が老後の暮らしに不安を持っており、いつまでも自宅で安心して暮らせる医療・介護体制（地域包括ケアシステム）の構築が求められています。その為には、ケアシステムの柱となる在宅医療、いつでも自宅へ訪問できる看護・介護体制の整備が必要となります。まず、医師会等と協力・連携し、在宅医療体制を整える事、更にケアシステムの中心となる地域包括支援センターの機能を強化し、地域密着型サービスを充実させていく事が重要です。

ここに、地域包括ケアシステムの構築に向け、すみやかに取り組む事を求めます。

以上、決議する。

平成28年12月22日

幸 手 市 議 会



幸手東地域包括支援センター
(ウェルズ幸手)



幸手西地域包括支援センター
(旧香日向小学校内)

地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書

地方創生が、我が国の将来にとって重要な政治課題となり、その実現に向け大きな責任を有する地方議会の果たすべき役割は、ますます重要となっている。

このような状況の中、地方議会議員は、これまで以上に地方行政の広範かつ専門的な諸課題について住民の意向をくみとり、的確に執行機関の監視や政策提言等を行うことが求められている。

また、地方議会議員は、議会活動のほか地域における住民ニーズの把握等様々な議員活動を行っており、近年においては、都市部を中心に専門化が進んでいる状況にある。

一方で、統一地方選挙の結果をみると、投票率が低下傾向にあるとともに無投票当選者の割合が高くなるなど、住民の関心の低さや地方議会議員のなり手不足が深刻な問題となっている。

よって、国民の幅広い層からの政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年12月22日

埼玉県幸手市議会議員 手 島 幸 成

人事案件

教育委員会委員

齊 藤 一 夫 氏

を任命することに同意しました。

固定資産評価審査委員会委員

駒 橋 明 彦 氏

を選任することに同意しました。